



かわらぶき

飛鳥時代に中国より寺院建築の技術とともに伝来した瓦は、それまでの樹木皮や茅葺きの屋根材から耐久性・耐火性に優れた陶器製屋根瓦に代わり安土桃山時代以降、一般的な本瓦葺きとして普及しました。本瓦葺きは平瓦と丸瓦を交互に組合せ並べる

もので社寺建築に使用されています。現在では一般住宅に平瓦と丸瓦を一体化させた波形の棧瓦葺きがよく見る瓦葺きです。施工方法は雨漏防止材の下地をひき瓦留めの棧木を打込み瓦を引掛け、棟部分の瓦・先端部分軒先瓦を敷き詰める引掛け棧瓦葺きが主流になっています。

知ってそうで
知らない技能の魅力

シリーズ1

ものづくりの力・再発見!!

私たちの暮らしの中で欠かせないものづくりを支えている数多くの職種。例えば、一件の家を建てるのに基礎工事から柱・梁の骨組みに壁・瓦の外装仕上げ、ドア・床・天井などの内装仕上げまで、それぞれの高度な技能を持った職人により完成されます。「大工・左官・とび・造園...聞いた事はあるけど、見た事あるけど、どんな職種内容なの...?」とされている方。それぞれ国家試験・技能検定の資格を取得した高度な技能と知識に卓越した職人たちのものづくりが私たちの暮らしを便利に豊かにしてくれるのです。そんな確かな技能の証しをご紹介します。

木のぬくもりを活かした
木造建築の構築!

建築 大工



最近の住宅建設ではツーバイフォーやコンクリート住宅などを目にしますが、やはり日本の住まいづくりは木のぬくもりや自然素材を活かした木造建築が一番。建築大工は木造軸組工法による日本古来の伝統と技

を受継ぐ職人。墨付け・加工などの工作作業から棟木・柱・梁などを複雑な形状で組立る軸組み作業など、のみ・かん・のこ・げんなどの伝統的な大工道具を駆使して、耐久性・機能性に優れた日本人ならではの木造建築を構築しています。

高所現場での安全性・効率性を
駆使する足場づくり!

とび



一般的に建設現場での足場組立て工事から高所作業を専門とする職種で、裾の広がった独特な七分作業ズボン(ニッカボッカ)を着用しています。とび工事は建築の種類・規模・進行状況に合わせて使用する機材

も多種にわたり、その作業ごとに専門の職人が担当する他にはない職種です。また天候による工事の進行状況や出入りする工事関係者の変動など、つねに先々の工程を確認・管理する質の高い技能と高所部分の現場だけにより安心して安全な作業体制が必要とされます。



快適な緑地環境を創造する
小さな大自然づくり!

造園



造園は古来より庭園を中心に生活の中で身近に自然を感じる癒しの空間。植栽・石積み・竹垣・池など、より自然に近い景観を演出するように細部にわたり工夫をこらしています。今では庭園を始め公共の公園やテーマパーク・街路樹など施工用途も広く、企画・設計・施工から維持管理・保全修復など、その技能は幅広く高度なものが要求さ

れています。その代表的なのが国営・讃岐まんのう公園の雄大なスケールの公園では、県下の数多くの造園会社が参入し、香川県ならではの山里を活かした緑地空間を創造しています。

建築の仕上げ部門として
装飾性・耐久性・環境性に優れた技能!

左官



記載されています。消石灰・麻などの繊維や糊を使った漆喰などが有名でその装飾性や調湿作用による結露防止やカビ・ダニの発生防止など、安心・安全・健康の面でも高く評価されています。また、天然素材を使っているのので、自然環境の保全にも役立ち、人に優しく快適な居住空間を提案しています。

建物の壁や床・土塀などをコテを使って塗り上げていく職種。日本家屋の壁は竹などを格子状に編み込んで下地の両面にわらを混ぜた土を塗り重ねる土壁。古くは飛鳥時代まで遡り当時の文献では「土工」・「白土師」として

技能検定とは

技能検定は、「働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」です。技能検定は、技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。技能検定を実施している職種は、136職種にのびります。(2011年2月現在) 技能検定には、現在、特級、1級、2級、3級に区別するもの、単一等級として等級を区別しないものがあります。

特級	管理者または監督者が通常有すべき技能の程度	2級	中級技能者が通常有すべき技能の程度
1級及び単一等級	上級技能者が通常有すべき技能の程度	3級	初級技能者が通常有すべき技能の程度

技能検定の合格者には、厚生労働大臣名(特級、1級、単一等級)または都道府県知事名(2級、3級)の合格証書が交付され、技能士と称することができます。また、技能検定合格者には、他の国家試験の受験や資格取得に際して特典が認められる場合があります。

あじ石産地の職人の
こだわりのものづくり!

石材施工



香川県は世界屈指の銘石と言われる「あじ石」の産地として知られ、その強固さと緻密で光沢のある最高級石材を数百年にもおよぶ伝統の技で支えた石工職人。ノミと槌を使い原石を大割り・小割りして手加工よりさまざまな形に削り細工をほどこし研磨されて生み出される石製品は石の里に

伝え継がれた技とこだわりの逸品です。墓石を始め石彫・灯籠・鳥居・玉垣など多岐にわたる石製品は歴史と伝統を礎に先人のあじ石職人によるものづくりの技が込められています。